

令和元年度 第1回 射水市在宅医療・介護連携推進協議会議事録

日時 令和元年 5 月 22 日（水）午後 1 時 30 分～2 時 40 分

会場 射水市役所 3 階 302 会議室

○議題

（1）令和元年度射水市在宅医療・介護連携推進事業実施計画(案) 資料説明（事務局）

- ・ワーキング部会員及び部会長の承認

〔意見交換〕

- ・骨粗しょう症治療に伴う服薬で顎骨壊死に至るケースあるが、歯科受診することでそれを予防し、服薬ができる。医師会と歯科医師会の間では情報共有ツールを使用していくことを既に決定していることの情報提供があった。

（2）射水市多職種連携支援システム構築及び運用保守業務に係る公募型プロポーザルについて

- ・審査要領：資料説明（事務局）
- ・第一次審査：応募のあった 2 社について書類審査を行った。2 社とも書類に不備はなかったため、2 社とも一次審査を通過とし、次回、6 月 5 日に第二次審査（事業者のプレゼンテーション）を実施する。

（3）その他（各委員より）

- ・人間の当たり前の行動である「食べる」ということができないのは不幸なことであり、これからの在宅療養においてこのことを考えていかなければならない。医科歯科連携が大切である。
- ・射水市民病院では訪問診療を平成 25 年 5 月から開始している。地域包括ケア病棟を平成 29 年 5 月に 2 病棟体制へ変更した。院内での在宅を中心とした体制づくり、運営協議会でも話し合いをしながら少しずつ在宅に力を入れていこうと考えている。
- ・薬局のホームページに在宅訪問ができるかどうかについて掲載がある。薬剤師会でも在宅医療について実績も増えてきている。これからも在宅訪問を進めていきたいと思うので、薬局を紹介して欲しい。
- ・ガン末期の方に麻薬の処方滞るということがあってはならない。麻薬の安定供給のために薬剤師会から県に意見を上げてもらいたい。
- ・高岡厚生センター射水支所では入退院支援ルールやパスを作成し情報提供を行っている。
- ・真生会富山病院では患者支援センターを設置した。看護師 2 名が常駐し、入院前より看護師等が面談し、リスクの高い患者はソーシャルワーカーにつなぎ介護申請等の支援を行っている。
- ・訪問看護ステーションでは病院との連携を進めている中で、看取りの問題で連携がとりづらいケースがあり検討が必要と感じている。ガン末期患者で、最後は自宅で看取りたいと希望があった場合で急変時にどう対応するのが課題である。
- ・富山福祉短期大学では地域つくりかえ講座を開催し、教員と地域をつないでいきたい。共創福祉センターにて受け付けている。

令和元年度 第1回射水市在宅医療・介護連携推進協議会 次第

日時 令和元年5月22日（水）

午後1時30分～2時30分

会場 射水市役所 3階 302会議室

1 開 会

2 委員紹介 (資料1)

3 議 題

(1) 令和元年度射水市在宅医療・介護連携推進事業実施計画(案) (資料2)

ア ワーキング部会実施計画(案) (資料2-1)

イ 在宅医療と介護を考える市民公開講座実施計画(案) (資料2-2)

(2) 射水市多職種連携支援システム構築及び運用保守業務に係る公募型プロポーザルについて

ア 審査要領 (資料3)

イ 第一次審査

4 その他

5 閉 会

<参考資料> 平成30年度在宅医療・介護連携支援相談窓口実施状況

射水市在宅医療・介護連携推進協議会及び認知症初期集中支援チーム検討委員会委員名簿

	団体名	役職	委員名	備考
医師会代表	射水市医師会	副会長	北 林 正 宏	
		副会長	高 橋 徹	会長
公的病院	射水市民病院	院 長	島 多 勝 夫	
歯科医師会代表	射水市歯科医師会	副会長	奥 村 俊 晴	
薬剤師会代表	富山県薬剤師会	副会長	永 野 康 己	
学識経験者	富山福祉短期大学	学 長	炭 谷 靖 子	
厚生センター	高岡厚生センター射水支所	支所長	竹 内 智 子	
訪問看護ステーション代表	富山県看護協会 訪問看護ステーションひよどり	管理者	森 陽 子	新
病院地域連携室代表	真生会富山病院 地域医療連携室	室 長	阿 部 素 子	
ケアマネジャー代表	射水市居宅介護支援事業者 連絡協議会	会 長	長 谷 英 寿	
介護サービス提供事業者代表	特別養護老人ホーム 太閤の杜 太閤の杜デイサービスセンター	施設長	松 浦 佳 紀	副会長
地域包括支援センター代表	新湊西地域包括支援センター	センター長	中 沖 清 美	

委員委嘱期間：平成30年（2018年）4月1日～令和2年（2019年）3月31日

令和元年度 射水市在宅医療・介護連携推進事業 実施計画（案）

	事業内容 (地域支援事業実施要綱より)	実施計画(案)	実施主体
(ア)	地域の医療・介護サービス資源の把握 地域の医療機関、介護事業所等の住所、機能等を把握し、これまでに自治体等が把握している情報と合わせて、リスト又はマップを作成、活用する。	○市ホームページの公開、リスト等の管理と情報収集 医療機関、介護事業所一覧表等のデータ更新 ＊在宅医療・介護連携支援相談窓口担当者が実施	市
(イ)	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、対応策等の検討を行う。	射水市在宅医療・介護連携推進協議会(年3回) 【実施時期】 5月、6月、2月 【検討内容】 ・在宅医療・介護連携の現状把握と課題の共有、対応策の検討 ・ワーキング部会からの提案事項の検討	市
(ウ)	切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指した取組を行う。	○在宅医療いみずネットワーク（射水市医師会） 在宅訪問診療における主治医・副主治医体制づくり 病院及び診療所の連携体制整備等 在宅医療介護提供体制ワーキング部会(年3回) 【検討内容】 ・介護者アセスメントや支援の強化 ・介護者支援の体制づくり	医師会 市
(エ)	医療・介護関係者の情報共有の支援 情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備し、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。	○射水市版情報共有ツール活用ガイドの作成・普及 情報共有ツールワーキング部会(年3回) 【検討内容】 ・情報共有ツール（ICTツール）を導入し、利用するための体制づくり	市
(オ)	在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域の在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者からの相談の受付を行う。	○在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置 【設置場所】 市地域福祉課内 【内 容】 保健師1名、社会福祉士1名を配置し、射水市医師会、地域包括支援センター等の協力を得て、医療機関や介護支援専門員との連携調整や情報提供を行う。 ○地域ケア会議等への参加による相談支援	市
(カ)	医療・介護関係者の研修 多職種が連携するための事例検討会の開催 医療・介護関係者に対する研修	○射水市医師会委託による研修会実施（年3回） ・事例検討会 ・多職種連携研修会（射水市居宅介護支援事業者連絡協議会共催） ・講演会	医師会
(キ)	地域住民への普及啓発 在宅医療・介護サービスに関する講演会開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する。	○在宅医療と介護を考える市民公開講座（年1回） ○パンフレットの配布による普及啓発 ○【新】終活支援ノートを活用した地域での出前講座を開催 住民普及啓発ワーキング部会(年3回) 【検討内容】 ・住民への普及啓発方法の検討 ・市民公開講座の企画開催	医師会 市
(ク)	在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	○地域包括ケア推進支援事業 在宅医療・介護連携推進支援事業 認知症施策推進支援事業 ○地域リハビリテーション支援事業	厚生センター

令和元年度 ワーキング部会実施計画(案)

3つのワーキング部会で在宅医療・介護連携の推進に向けた具体的な取組等を検討する。
ワーキング部会の進捗状況を射水市在宅医療・介護連携推進協議会で共有し、内容について協議する。

射水市在宅医療・介護連携推進協議会(年3回) 委員12名

ワーキング部会の進捗状況の共有・連携に向けた協議

在宅医療介護提供体制
ワーキング部会
(部会員6名)

情報共有ツール
ワーキング部会
(部会員7名)

住民普及啓発
ワーキング部会
(部会員7名)

在宅医療介護提供体制ワーキング部会

ひとりひとりの状態に応じた最適な医療と介護を継続的、包括的に提供できる体制の推進

【実施計画】 在宅介護者への支援に関する取組

- 1 介護者アセスメントや支援の強化
 - ・射水市版介護者アセスメント票の作成
 - ・ケアマネジャーへの啓発
アセスメント票の活用方法や介護者支援に関する研修会を開催
- 2 介護者支援の体制づくり
「射水市介護お助け隊(仮称)」として介護者支援のできる事業所などを掲載したパンフレットを作成

【ワーキング部会員(6名)】

白やぎ在宅クリニック 院長	八木 清貴 氏
射水市民病院看護科 主幹	西野 崇乃 氏
真生会デンタルクリニック 院長	稲田 雅一 氏
にの井屋薬局 管理薬剤師	摂津 樹 氏
高岡厚生センター射水支所 地域健康課長	福井貴実子 氏
小杉南地域包括支援センター 所長	山本 征史郎 氏

【実施スケジュール】

5月	第1回在宅医療・介護連携推進協議会
6月	第2回在宅医療・介護連携推進協議会
7月	第1回ワーキング部会
8月	
9月	
10月	第2回ワーキング部会
11月	
12月	第3回ワーキング部会
1月	
2月	第3回在宅医療・介護連携推進協議会

情報共有ツールワーキング部会

顔の見える関係を目指した多職種ネットワーク体制の強化と 情報共有の推進

【実施計画】

多職種連携推進のため、情報共有ツール（ICTツール）を導入し、利用するための体制づくりを行う。

《予定》 6月 システム業者決定
8月 説明会（市内事業者向け）
10月～ システム運用開始

【ワーキング部会員（7名）】

のざわクリニック 院長 野澤 寛 氏

射水市民病院 歯科口腔外科部長 高櫻 大輔 氏

チューリップ新湊薬局 薬剤師 青塚 保志 氏

訪問看護ステーションひよどり 管理者 森 陽子 氏

真生会富山病院 医療福祉相談室 副主任 濱名 寛子 氏

射水市居宅介護支援事業者連絡協議会 柴田 芳之 氏

新湊西地域包括支援センター 所長 中沖 清美 氏

【実施スケジュール】

5月	第1回在宅医療・介護連携推進協議会
6月	第2回在宅医療・介護連携推進協議会
7月	第1回ワーキング部会
8月	第2回ワーキング部会
9月	
10月	
11月	
12月	第3回ワーキング部会
1月	
2月	第3回在宅医療・介護連携推進協議会

住民普及啓発ワーキング部会

住み慣れた地域で自分らしい生活を送るための住民への
普及啓発の推進

【実施計画】

医療や介護が必要となっても本人、家族の状況に応じて生活の場を選択できるように住民意識を向上させるため、普及啓発方法について検討する。また市民公開講座を企画、開催する。

【ワーキング部会員（7名）】

矢野神経内科医院 院長 矢野 博明 氏

高岡厚生センター射水支所 支所長 竹内 智子 氏

富山福祉短期大学社会福祉学科介護福祉専攻 講師 毛利 亘 氏

特別養護老人ホーム太閤の杜 施設長 松浦 佳紀 氏

高岡厚生センター射水支所 地域健康課 主任 松岡 佳奈子 氏

射水市居宅介護支援事業者連絡協議会 橋本 莖子 氏

新湊東地域包括支援センター 主任介護支援専門員 富田 克実 氏

【実施スケジュール】

5月	第1回在宅医療・介護連携推進協議会
6月	第2回在宅医療・介護連携推進協議会
7月	第1回ワーキング部会
8月	
9月	
10月	第2回ワーキング部会
11月	
12月	
1月	第3回ワーキング部会
2月	在宅医療と介護を考える市民講演会 第3回在宅医療・介護連携推進協議会

令和元年度 射水市在宅医療・介護連携推進協議会ワーキング部会員名簿

1 在宅医療介護提供体制ワーキング部会

		役職	委員名	備考	部会長 (案)
1	医師会代表	白やぎ在宅クリニック 院長	八木 清貴		
2	公的病院	射水市民病院看護科 主幹	西野 崇乃		
3	歯科医師会代表	真生会デンタルクリニック 院長	稲田 雅一		
4	薬剤師会代表	いの井屋薬局 管理薬剤師	摂津 樹		
5	厚生センター	高岡厚生センター射水支所 地域健康課長	福井 貴実子		○
6	地域包括支援センター代表	小杉南地域包括支援センター 所長	山本 征史郎	新	
	事務局	地域福祉課地域支援係 主任	松井 美夏		

2 情報共有ツールワーキング部会

		役職	委員名	備考	部会長 (案)
1	医師会代表	のざわクリニック 院長	野澤 寛		
2	歯科医師会代表	射水市民病院歯科口腔外科 部長	高櫻 大輔		
3	薬剤師会代表	チューリップ新湊薬局 薬剤師	青塚 保志		
4	訪問看護ステーション代表	訪問看護ステーションひよどり 管理者	森 陽子	新	
5	病院地域連携室代表	真生会富山病院医療福祉相談室 副主任	濱名 寛子		
6	ケアマネジャー代表	射水市居宅介護支援事業者連絡協議会 参与 (下村デイサービスセンター)	柴田 芳之		
7	地域包括支援センター代表	新湊西地域包括支援センター 所長	中沖 清美		○
	事務局	地域福祉課地域支援係 主査	島崎 真理		

3 住民普及啓発ワーキング部会

		役職	委員名	備考	部会長 (案)
1	医師会代表	矢野神経内科医院 院長	矢野 博明		
2	歯科代表	高岡厚生センター射水支所 支所長	竹内 智子		
3	学識経験者	富山福祉短期大学 社会福祉学科介護福祉専攻 講師	毛利 亘	新	
4	介護サービス提供事業者代表	特別養護老人ホーム太閤の杜 施設長	松浦 佳紀		○
5	厚生センター	高岡厚生センター射水支所 地域健康課 主任	松岡 佳奈子	新	
6	ケアマネジャー代表	射水市居宅介護支援事業者連絡協議会 書記 (すずらん介護支援センター)	橋本 茎子	新	
7	地域包括支援センター代表	新湊東地域包括支援センター 主任介護支援専門員	富田 克実		
	事務局	地域福祉課地域支援係 主査	城石 幸代		

令和元年度在宅医療と介護を考える市民公開講座実施計画（案）

日 時 令和2年2月

会 場 （仮称）市民交流プラザ （旧 小杉社会福祉会館）

来場者見込 約300名（スタッフ含）

内 容

○開会あいさつ

○ステージ

特別講演会 等

○関係団体パネル展示・相談会

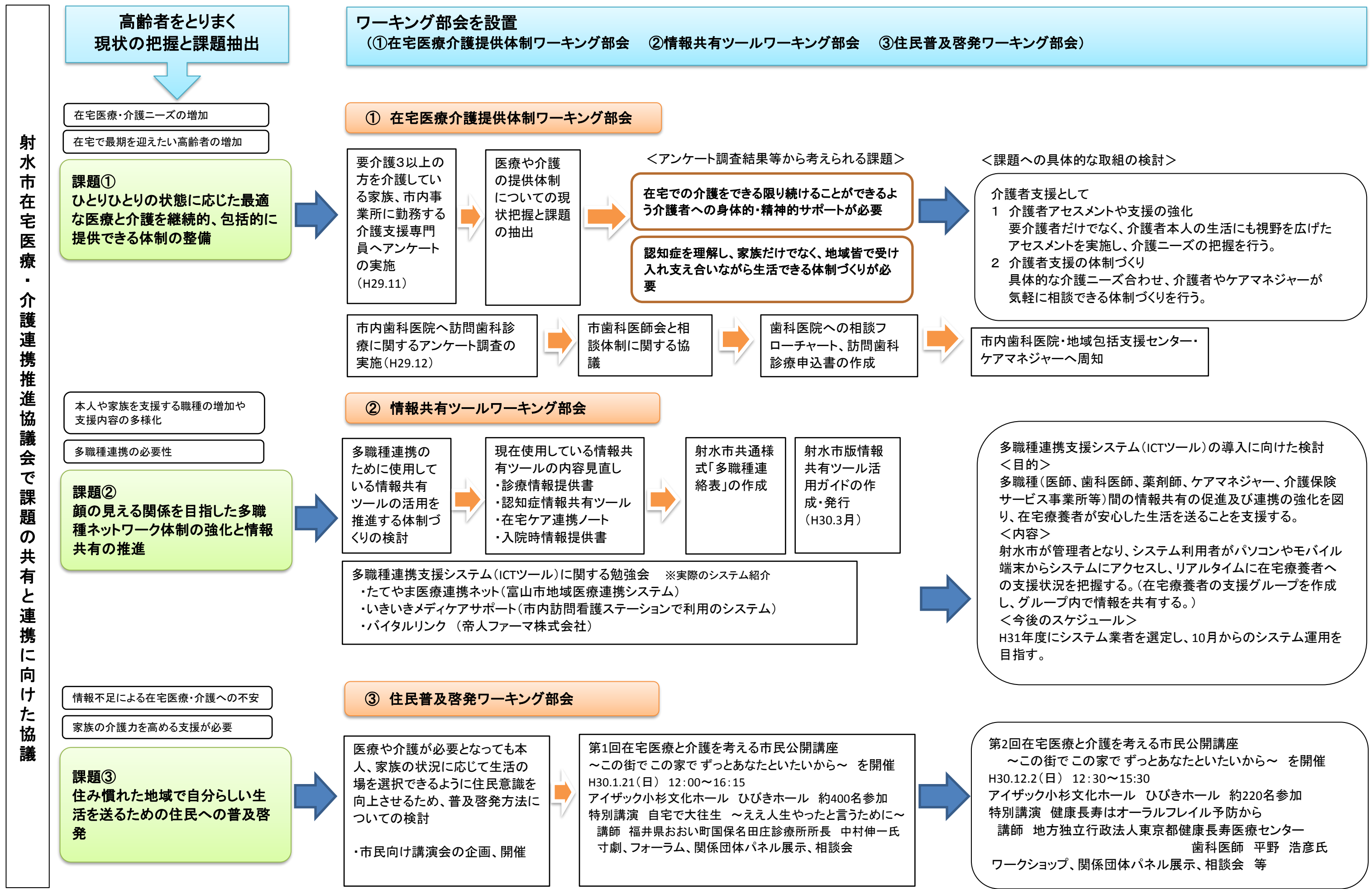
展示団体 医師会、歯科医師会、薬剤師会、射水市民病院、真生会富山病院
訪問看護ステーションひよどり、富山福祉短期大学
認知症地域支援推進員、射水市 等

相談会 お口の健康相談会

もの忘れ・認知症相談会 等

射水市在宅医療・介護連携推進協議会及びワーキング部会の取組経過

H28年度（協議会設立、2回開催）H29年度（協議会3回開催、ワーキング部会 3部会×3回開催）H30年度（協議会3回開催、ワーキング部会 3部会×3回開催）



射水市多職種連携支援システム構築及び運用保守業務に係る
公募型プロポーザル審査要領

1 目的

射水市多職種連携支援システム構築及び運用保守業務に係る事業者の選定に当たり、公正かつ公平に審査を行うため、「射水市多職種連携支援システム構築及び運用保守業務公募型プロポーザル方式選定会議（以下「本会議」という。）」を開催する。

2 委託業務の内容

別紙仕様書のとおり

3 審査方法

書類による第一次審査を行い、業務の確実性及び価格について評価し、上位3社を選定する。その選定者によるプレゼンテーション及びヒアリングで第二次審査を行い、その結果を総合し、最も優れた提案を行った事業者に決定する。

4 審査基準

市が作成する提案内容評価表に基づき、評価を行い、第一次審査、第二次審査を総合し、順位を決定する。評価の結果、複数の事業者の合計点が同じ場合は、「確実性評価」の得点が高い事業者を上位とする。「確実性評価」についても同じ場合は、本会議の委員による多数決で決定する。

5 審査日時

- (1) 第一次審査 2019年5月22日（水）13時30分から
- (2) 第二次審査 2019年6月 5日（水）13時から

6 審査委員

射水市在宅医療・介護連携推進協議会委員12名を審査委員とする。

7 運営

- (1) 本会議の委員長は、射水市在宅医療・介護連携推進協議会長が務める。
- (2) 本会議は、委員の10名以上の出席をもって成立とする。
- (3) 本会議の庶務は、射水市福祉保健部地域福祉課において処理する。

8 選考結果

審査結果については、参加事業者に別途通知する。なお、審査結果に対する異議申し立て及び合計点、順位以外の評価内容の開示請求には応じない。

9 その他

本要領に定めのない事項及び本要領に疑義が生じた場合は、本会議の協議により定める。

平成30年度在宅医療・介護連携支援相談窓口 実施状況

1 相談対応件数

	住民相談		医療機関・包括等からの相談	
	延件数	月平均	延件数	月平均
H29年度（H29.6窓口設置）	22	2.2	43	4.3
H30年度	53	4.4	92	7.7

2 相談内容の抜粋

	対象	内容	対応
1	72歳男性と 65歳女性の夫婦	病院連携室より 夫婦とも妄想の傾向があり、治療の判断ができるのか不安あり。生活状況も悪く、入院費の支払いができず、対応支援について相談	包括支援センターと連携し 退院に向けて支援調整（面談同席や自宅訪問、生活保護申請等）
2	92歳男性	病院連携室より 妻の関わりが得にくく、虐待も疑われる。入院継続の相談や支援の方向性についての相談	虐待の事実確認や支援調整 （本人面談や転院支援等）
3	50代男性 （2号保険者）	ケアマネジャーより 脊髄小脳変性症で訪問歯科診療の必要あり。相談できる歯科医院について確認	訪問歯科診療申込書の利用 や歯科医院との連携方法について支援
4	91歳女性	ケアマネジャーより 娘（精神科通院中）からケアマネジャー、介護者等への要求が止まらず、周囲が疲弊している。どのように対応すべきかの相談	現状の課題や娘の要求内容 や対応の確認。娘の精神疾患の理解と対応支援

3 その他の業務

(1) 医療・介護サービス資源の把握

市ホームページで「いみず医療介護情報」を公開、内容更新

(2) 射水市在宅医療・介護連携推進協議会の開催（H30.5.21、H30.10.22、H31.2.20）

- ・在宅医療介護提供体制ワーキング部会（年3回）
- ・情報共有ツールワーキング部会（年3回）
- ・住民普及啓発ワーキング部会（年3回）

(3) 射水市終活支援ノートの作成

医療や介護が必要となっても本人や家族の状況に応じて自分らしい暮らしを選択していけるよう
住民意識の向上を図ることを目的に、射水市民病院緩和ケア認定看護師の協力を得て「射水市終活支援ノート“思いを伝えるノート”」を作成した。